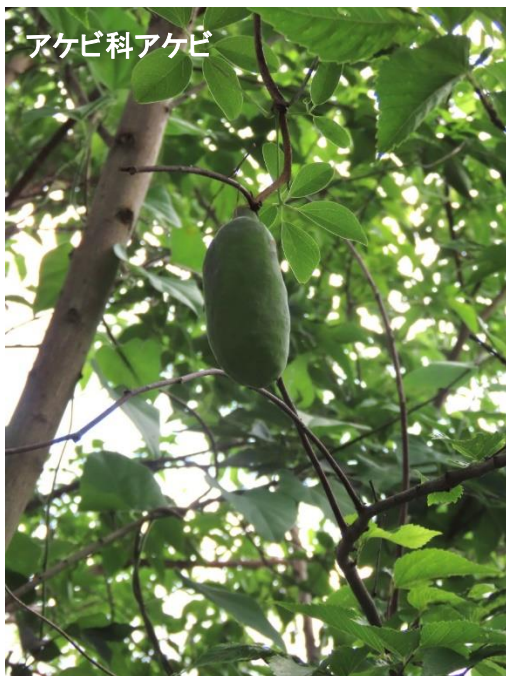


## 東久留米のいきもの(6月7月の樹木)No.1



アケビ科アケビ



カバノキ科クマシデ



アオイ科アオギリ



クルミ科オニグルミ



キリ科キリ

アケビ: 7月4日観察したアケビの実。市内では多数生育しているが果実を観察する事は珍しい。同科のゴヨウアケビ、ミツバアケビ、ムベも見られる。

クマシデ: 7月13日観察したクマシデの「果穂(かすい)」。写真中央部の黄緑色した房状の物で雌花が遷移したもの。※詳しくはネットで検索ください。

アオギリ: 7月31日観察したアオギリの結実後の状態。さやの中に丸い実が見える。

オニグルミ: 7月18日観察したオニグルミの実。市内では河川沿いで観察できる。

キリ: 7月4日観察したキリの実。4月下旬頃、大きな紫色の鈴状の花を多数咲かせる。※右上の花は4月29日に撮影したもの。

## 東久留米のいきもの(6月7月の樹木)No.2



マンリョウ: 7月3日開花確認。鳥が実を各所へ運ぶことから多くの森で観察可。

タラノキ: 7月31日開花確認。春先の若芽はタラの芽と呼ばれており子供の頃「タラボの芽」と呼んだ。

クコ: 7月5日開花確認。茎には鋭い刺があり保全活動時の厄介者。

ザクロ: 7月18日結実直前の状態。イランが原産で平安頃に渡来したとの事。

サルスベリ: 7月19日開花確認。漢字で「百日紅」と書くように開花期が長いとの事。

## 東久留米のいきもの(6月7月の樹木)No.3

マメ科ギンネム



ギンネム: 7月20日開花確認。中南米原産で外来生物法により要注意外来生物になっている。※柳泉園緑地公園内。

コマツナギ: 7月26日開花確認。落葉小低木。市内での生育数は非常に少ない。

ネムノキ: 7月4日開花確認。※小山台遺跡公園内。

マメ科コマツナギ



マメ科ネムノキ



ブドウ科ツタ



シソ科クサギ



ツタ: 6月26日開花確認。同科植物のノブドウやヤブガラシなどと類似した花の形態。秋の紅葉時期には美しい彩りを見せてくれる。

クサギ: 7月20日開花確認。枝や葉に悪臭があり和名は「臭木」。また、この樹木は開花すると少しきつめの芳香を漂わせ、多くの昆虫を引き寄せる。